

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 1 日

事務事業名		石材関連イベント支援事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	040203000543
総合計画の施策名		0402	商工業の振興		単独/補助	単独	所属課	050301
政策名		04	活力ある産業のまちづくり		主要事業		商工観光課	
施策名		02	商工業の振興		市長マニフェスト		グループ	商工観光グループ
手段名		03	③石材業の振興		未来PJ事業			
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	07	01	02	01	00	商工振興事業	
					単年度繰返し (平成2年度~)			
					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠 桜川市大和の石まつり開催費補助金交付要項、いばらきストーンフェスティバル開催費補助金交付要項								

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
石材関連イベントの支援 ・大和の石まつり (6月上旬に開催 大和庁舎駐車場) 地場産業を広くPRするとともに、石材製品・機械工具の展示販売を行う。 主催：大和の石まつり実行委員会 ・いばらきストーンフェスティバル (11月上旬に開催 笠間芸術の森公園) 県内外にいばらきの石を広くPRするとともに、石材製品の展示販売を行う。 主催：茨城県石材業協同組合連合会	・補助金支出 (申請受付→内容審査→補助金交付決定→実施報告書受付) ・会議及びイベントへの出席 ・イベントのPR

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・補助金支出 (申請受付→内容審査→補助金交付決定→実施報告書受付) ・会議及びイベントへの出席 ・イベント宣伝	会議の開催回数	回	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
	イベント実施回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
出店事業者	出展事業者	社	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
持続可能な経営	来場者数	人	36,500.00	37,000.00	37,000.00	37,000.00	37,000.00
	成約件数	件	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	期間限定総投入量
県支出金	千円	0	0	0	0	
地方債	千円	0	0	0	0	
使用料・手数料	千円	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	
一般財源	千円	4,520	4,520	4,520	0	
事業費計 (A)	千円	4,520	4,520	4,520	0	
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

30年度事業費 実績 (千円)

01年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	30年度事業費 実績 (千円)	01年度事業費 予算 (千円)
19 負担金補助及び交付金	4,520	4,520
合計	4,520	4,520

(4) 当該年度の実施内容

01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業		

事務事業名	石材関連イベント支援事業	事務事業No.	40203000543	所属課	商工観光課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	石材及び石材製品のPRと販路拡大及び産地ブランドの確立を目指して開始された。 大和の石まつり：平成元年 いばらきストーンフェスティバル：平成10年 両イベントとも出店業者が減少、催事内容もマンネリ化し集客が伸び悩んでいる。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	いばらきストーンフェスティバルの桜川市開催 議両イベントの統合 補助金の維持
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	大和の石まつりは集客数が伸びやまず、ストーンフェスティバルのように他のイベントと連携する必要がある。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 結びついている 石材業のPR、販路拡大につながるイベントであり、市の政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である 石材産地をPRし地域経済を回すことが目的である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がある イベント内容を見直すことにより来場者及び成約件数を伸ばすことができる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有 イベントの縮小・廃止となる可能性が高く、広く石材製品をPRする場を失う。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)⇒ 具体的な手段、事務事業名 余地がない 特に無し
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がある 補助金の依存度が高い。販売実績に応じて補助金を見直す必要あり。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正・公平である 石材産地をPRする実行委員会への負担であり、公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	大和の石まつりはH28から6月上旬に開催となったが、集客には結びついていない。商談件数も減少傾向にあり石まつりとしての魅力が伝わっていない。 いばらきストーンフェスティバルは、笠間陶芸の丘にて他のイベントと連携して行うため来場者は多いが、商談件数は減少傾向にある。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
石の魅力が伝わるイベント内容を考える必要がある。 購入意欲の湧く石材製品の開発が必要である。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 ④ コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>